



二十歳を祝う会に参加して

教頭 佐川 透

先日（8月5日）、本校同窓会が主催する令和5年度二十歳（はたち）を祝う会がありました。2年前に本校の高等部を卒業して、今年度二十歳を迎えられる13名の皆さんが参加しました。

プログラムの中に「二十歳の方と保護者の皆様から一言」というコーナーがありました。二十歳を迎えられる方々からは、会社や事業所で働いていること、趣味や余暇の楽しみなど自分の近況の報告がありました。「毎日会社に行って、仕事をがんばっています。」「お給料を貯金して、大好きなアーティストのコンサートに行きます。」「仕事が楽しいです。」等々、学校とは違う社会生活にもようやく慣れ、充実した毎日を送っている様子が見えられました。

保護者の方々からは、「小学部に入学したとき、今日のような二十歳を祝う会に参加する日が来ることは想像できなかった。今日また、子どもたちや保護者の皆さんと会うことができ、とてもうれしいです。」「自分の子どもが、毎日お弁当をもって、職場に通勤できていることがこの上ない喜びです。」「これまでも子どもと二人三脚で歩んできました。この後も仕事のことなども含めて、子どもと相談しながら生活していこうと考えています。」等々、我が子の成長をうれしく思うとともに、現在の生活を喜び、さらに将来にも思いを馳せているという印象を受け、これまでの年月の積み重ねの上に今の生活があるのだと胸を熱くしながら聞き入っていました。

さて、担任をしていたころ、折に触れ、学級懇談や個別面談等で、保護者の方々と「将来の生活のイメージ」について、情報交換していたことを思い出しました。小学部低学年ではどうしても漠然とした内容になってしまいがちでしたが、子どもの将来を考えるきっかけにはなったかもしれません。中学部になるとPTA研修などで進路の情報を得ている保護者の方も増え、具体的にイメージしていることも多くありました。高等部では、卒業後の進路が現実として目の前にあるので、現場実習先や生活の場所など、個別に確認していく必要がありました。

終わりになりますが、子どもの将来について、ぜひ情報交換してほしいと思います。なんとなく考えていることでも言葉にすると具体的になることがあります。子どもの得意なこと、好きなこと、夢や希望はどんなことでしょうか。一方で、会社や事業所はどんな人材を望んでいるのでしょうか。ほしい情報があれば声を出してください。担任が知っていればお伝えしますし、分からない場合は一緒に調べることもできます。学校と家庭が一緒になって子どもたちの将来が豊かになるように協力していきましょう。



令和5年度 二十歳を祝う会及び同窓会総会の様子



記念写真



記念品贈呈



二十歳の方と保護者の皆様から一言



「第22回秋田県障害者技能競技大会アビリンピックあきた大会2023」

7月5日（水）に秋田市にぎわい交流館 AU で「第22回秋田県障害者技能競技大会アビリンピックあきた大会2023」が開催されました。本校からは「ビルクリーニング」に高3森田郁斗さん、高2天野政翔さん、「木工」に高2竹内力樹さん、「喫茶サービス」に高3小仲幸人さん、佐藤悠世さんが出場しました。この大会に向けて、放課後の時間も活用しながら日々練習を重ねてきました。結果は、「ビルクリーニング」の森田郁斗さん、「木工」の竹内力樹さん、「喫茶サービス」の小仲幸人さんがそれぞれ金賞、「喫茶サービス」佐藤悠世さんが銅賞を獲得しました。「3部門制覇」という快挙を達成です！惜しくも入賞を逃した生徒も、これまで培ってきた力を本番で発揮できたり、自身の成長を実感したりすることができました。尚、今大会で金賞を獲得した3名は、令和5年11月17日～19日に愛知県で行われる「第43回

全国アビリンピック」に秋田県代表として出場する予定です。全国大会でも力を発揮できるよう、応援しています。

全国大会マスコット
「アビリス」

